

委員会レポート

ハイチ共和国との
交流事業総務教育
常任委員会

8月16日協議会開催



カリブ海に浮かぶハイチ共和国

2020年東京オリンピック参加国の、ハイチ共和国のホストタウンとして登録申請し、同国選手団を本町に招き、スポーツ・文化交流を行つ。

問 どのような交流事業を行つのか。
答 図書館などで、ハイチの文化を知らせる絵画展などを考えている。

ハイチの選手には、日本の夏祭りなども体験していただきたい。

こどもたちとの交流は、選手団を幸田町に招

本町に招き、スポーツ・文化交流を行つ。

登録申請し、同国選手団を

本町に招き、

登録申請し、

同国選手団を

本町に招き、

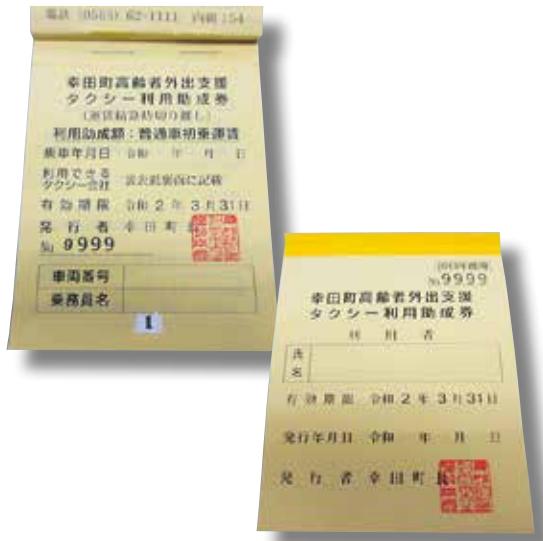
—閉会中の各委員会活動状況—

高齢者支援タクシーの利用開始

福祉産業建設常任委員会

8月9日協議会開催

給食費は、月額4500円が実費徴収される。



高齢者に喜ばれるタクシー券

80歳以上の、ひとり暮らし高齢者などの外出支援のため、タクシー初乗り運賃の助成を開始。対象者は761人。年収制限や平等性がない。

研究をしていく。
今後、障がい者支援並みの助成を。

答 1年から2年の実績をみて考えていく。

幼児教育・保育の無償化
10月から、3歳から5歳までの、子どもの利用料が無償化される。

問 業務期間
答 令和元年7月19日から
令和2年3月31日
契約金額
答 1063万8000円
委託業者の実績は。平成27年から、豊田市で良好な運営実績がある。

幸田小学校（幸田第3児童クラブ）の運営委託
受託業者 ホームツックス株式会社
支援員の不足や、待機児童の解消を図るため、民間業者に委託する。

7月12日・23日管内視察

岡崎市中央クリーンセンターなど視察

◇岡崎市こども発達センター
幸田岡崎の子どもを対象に、発達に不安がある場合、早期に必要な相談・医療・支援をする。(町の建設費負担総額は約4億円)

◇地域包括支援センター
住民の心身の健康保持及び、生活の安定並びに福祉の増進を支援している。

◇幸田町
一般廃棄物最終処分場
陶磁器など不燃残渣を、現在まで1450tが埋立処分された。

◇岡崎市
中央クリーンセンター
平成23年に供用開始され、幸田町は、昨年7月6tの可燃ごみを搬入し、焼却。(町の建設費負担総額は約19億円)



中央クリーンセンターの稼動を視察

◇上六署子育て支援センター
就園前の子どもを対象として、子育て相談などをしている。(他に2施設を視察)

◇豊坂ほっと館

多世代交流施設として、幼児から高齢者までが交流している。